

平成25年度 いいたて在宅介護支援センター  
指定居宅介護支援事業所事業報告書

1. 基本方針について

介護保険の基本理念である「高齢者の自己決定権の尊厳」「自分らしい生活の継続」及び「自立支援」を基本とし、ご利用者の意向を踏まえ、自立支援に向けた居宅サービス計画を作成し、プランに添ったサービスが提供されるように、ご本人並びに家族は勿論の事、多種多様の事業者や関係機関と調整し、避難先でも家族との生活が継続できるような支援を行ってきた。

(1) 信頼を得るについて

ケアプランを立案するにあたり、ご利用者とそのご家族の方との信頼関係を得るためにコミュニケーションを密にして、避難先のサービス事業者とも連携を図り、迅速な対応を目指してきた。

(2) 課題を正確に捉えるについて

生活環境が大きく変わった中で、ご利用者・ご家族の方の抱える心配ごとや不安な点を捉えるため、今後予測される課題についても、事前検討を行ってきた。

(3) 情報提供について

ご利用者・ご家族の方が必要としている、介護保険制度を含めた様々な情報を適切に提供出来る様に、利用できるサービスなど避難先の地域資源活用等についても説明を行ってきた。

避難生活の長期化で止むを得ず施設への入所を希望される方々に対して、行政関係機関と連携を図りスムーズな避難が可能になるよう情報提供を行ってきた。

(4) モニタリングを行うについて

常に状況を把握し、状態にあった支援が提供できるよう努めてきた。モニタリング訪問以外にも、出来る限りの相談や状況確認などの為に、自宅への訪問や電話での状況確認を行ってきた。

(5) ご利用者の立場に立つについて

常にご利用者とその家族の、立場に立ち対応することに努めてきた。

『評価と課題』

モニタリング訪問の他にも、電話などにより身体状況の変化や生活状況及び家族の介護負担の確認を行い、適切な対応ができるように努めてきました。また、サービス提供事業者や関係機関との連絡体制を徹底し、情報の共有を図ってきた。

広域に避難している利用者に対応している状況ではある。今後は、活動の効率化を図っていくことも必要となってくる。

2. 具体的な施策について

《ケアマネジメントの充実》

(1) アセスメント（課題分析）について

ご利用者及びご家族の方の意向等を把握し、解決すべき課題や生活行為等に対する可能性を抽出し、それらに基づく目標を導き出してきた。また、得られた情報はケアマネジメントの中核とし、状態像を十分に把握してきた。

(2) サービス担当者会議（ケアカンファレンス）について

ご利用者及びご家族の方、サービス事業所が参加することにより、生活への要望や課題を直接会って確認することで、チーム全員が思いを共有できると共に、ご利用される側に安心感を持てるようにしてきた。

(3) モニタリング（サービス実施状況の把握及び評価）について

モニタリングは、ご利用者に対する継続的なアセスメントでもあり、ご利用者や家

族の要望や苦情を、口に出せるような関係を築いていくと共に、サービスの実施状況も確認してきた。

(4) 居宅サービス計画の見直し（再アセスメント）について

モニタリングの結果から、ケアプラン変更の必要性が生じたら、内容を確認し利用者の状態の変化及びニーズを把握し、居宅サービス計画を見直し作成してきた。

(5) 給付管理について

サービス提供事業者からサービスの実績報告を受け、内容を確認し「給付管理票」を作成し翌月10日までに県の国民健康保険団体連合会に提出しています。

・給付管理請求一覧（平成25年度）

月	件数	介護報酬額	月	件数	介護報酬額
4月	67件	884,350円	10月	59件	785,450円
5月	64件	849,850円	11月	61件	813,550円
6月	65件	863,900円	12月	62件	863,900円
7月	64件	852,850円	1月	63件	843,450円
8月	66件	878,850円	2月	60件	796,050円
9月	63件	834,900円	3月	57件	748,650円
合計			751件		10,015,750円

『評価と課題』

サービス提供事業所との連絡調整を密に行い、適正なサービス利用に向けた調整を行っています。ショートステイの利用希望においては、県内の各入所施設とも避難者の受け入れを行っている状況であり、利用が容易ではない状況であります。特に、相馬地方においては震災以前と変わりなく運営しておりますが、地元の避難者の受け入れだけでも定員を超えて活動を行っている状況であります。入所施設につきましても、慢性的な職員不足の状態でありショートステイの利用希望があっても希望に対応しきれない状態であります。今後もサービス事業所との連絡調整を行い、サービス利用に反映できる様にしていきたいと思っております。

3. 重点事業目標について

(1) 利用者及び家族に対し、避難先の福祉サービス情報提供について

- 希望するサービスを把握し避難先で対応可能なサービスについて、介護保険サービス以外のサービスを含め情報提供を行った。

『評価と課題』

- 避難先地域ごとに、サービスの種類や量などを事前に調査を行い、利用者や家族に適していると思われるサービスについて適宜情報提供を行うことが出来た。情報収集の方法について、より効果的に図れる様に関係機関と連携する必要がある。

(2) 避難先での孤立防止と意欲低下防止について

- 訪問活動や電話による状況確認を行うことにより、利用者はもちろんのこと、家族の介護への不安解消を図った。

『評価と課題』

- 定期的な訪問活動のほかにも、不安要素がある利用者や家族への支援活動を展開できたことは満足できるものであるが、今後は離れて暮らす家族との連携も必要と思われる。

(3) 利用者の状況に応じたケア計画の作成について

- 利用者及び家族の状況を把握することはもちろん、サービス提供事業者からの情報を元に再アセスメントを行い、状況に適したケア計画を作成してきた。

『評価と課題』

- 状況に応じたケア計画作成が出来たことには、利用者や家族にも満足していただけたことは評価できるものとは思っている。その時々だけではなく、当初から長期的な視点でのケア計画を作成するように努めたい。

#### (4) 効率的な訪問活動について

- ・ 訪問に先立ち事前に利用者の予定や家族の予定などを確認し、連絡を取る事などの工夫により、計画的で効率的な訪問活動が図れてきた。

##### 『評価と課題』

- ・ 事前連絡などにより定期的な訪問については、効率的な訪問活動が行われているが、突発的な事案や新規案件などは発生した場合においては、同じ訪問先に何度も訪問しなければならず、効率性を図ることだけを優先させることは困難な状況である。

#### 4. 介護支援専門員の資質・専門性の向上について

##### (1) 専門知識及び技術向上に努めてきた。

研修会に参加し、周知徹底に努めてきた。

- ・ 現任認定調査員研修（福島市） 1名参加

##### (2) 不満や苦情があれば、迅速かつ適切な対応が図れるように努めてきた。

- ・ 訪問時本人や家族の満足や不満等について確認し、サービス事業所への報告や改善を促しながら、質の向上に努めてきた。

##### (3) 秘密保持厳守、及び個人情報の取り扱いを適正に行ってきた。

- ・ 個人情報等の取り扱いについて慎重に対応するように努めてきた。

##### (4) 困難事例ケース検討、及び新規ケースの情報の共有することで、事業所内で依頼ケースのケアに取り組んできた。

- ・ 担当者が詳細な情報を報告し、情報を共有出来るように努めてきた。

##### 『評価と課題』

研修会に参加し、情報の収集と周知徹底を行ってきた。

困難事例ケースについては、地域包括支援センターやサービス提供事業所とも連携を図り、同行訪問を行いながら対応を行ってきた。困難事例ケースは、介護保険上の問題だけでなく、家族構成・経済・賠償・住宅環境など家庭環境全体が困難なケースとなっている。

#### 5. 在宅介護への支援について

##### (1) 介護保険制度及びサービス内容の周知を行ってきた。

- ・ サービス利用については、ご利用者のニーズに合わせ、それぞれの避難先（自治体）で希望するサービスを提供できるよう努力してきた。

##### (2) 介護方法及び社会資源の利用についての周知を行ってきた。

- ・ 紙おむつ、パット等の排泄に関わるアドバイス、認知症利用者等への対応の仕方など行ってきました。避難先での利用可能な社会資源について、その都度説明を行ってきた。

##### 『評価と課題』

関係機関との連携が益々必要となっていくと考えられ、利用者やその家族の不安が少しでも解消できるような、相談援助を継続していく必要がある。

#### 6. 各関係機関との連携の強化

##### (1) 地域包括支援センターを始め、各関係機関との連携を密にし、ニーズに沿ったケアマネジメントが行えるよう努めてきた。

- ・ 各市町村関係機関との連携を行いながら、ケアマネジメントに反映出来る様に努めてきた。

##### 『評価と課題』

・ 社会資源を十分に把握することが出来ない中で、本人や家族に負担をかけることが無いように、避難先の各種関係機関と連携して支援できたことについては、評価できるものと感じております。今後の生活環境等の変化に対し、対応できるかの連携が必

要になってくるものと思われる。

平成25年度、避難先でご協力頂いている（協力頂いた）各種事業所（敬称省略・順不同）

<p>《福祉用具関連事業所》 エヌジェイアイケアヘルス福島店、ニチイケアセンター南福島、(株)ファミリーケア（福島市）(株)昭和総合サービス（郡山市）、(株)同仁社（伊達市）、創世テクノエイド（桑折町）、(株)アルプスビジネスクリエーション（相馬市）、(株)ハッピーケア（南相馬市）、(有)石井薬局（川俣町）</p> <p>《訪問看護事業所》 訪問看護ステーションすかわ、訪問看護ステーション松陵、訪問看護ステーションしみず、ひまわり訪問看護ステーション、訪問看護やまなみステーション（福島市）、ほばら訪問看護ステーション、あぶくま訪問看護ステーション（伊達市）、リハビリ訪問看護ステーションつばさ（相馬市）、済生会川俣訪問看護ステーション（川俣町）</p> <p>《訪問介護事業所》 介護ステーションつくし、ニチイケアセンター南福島、さくらのヘルパーステーション（福島市）、福寿園ヘルパーステーション、のぞみケアタクシー(株)（南相馬市）、ケアステーションやわらぎ、ヘルパーステーションほばら（伊達市）、ニチイケアセンター宇多の郷、馬陵タクシー介護事業（相馬市）、田村市東部訪問介護事業所（田村市）</p> <p>《訪問入浴事業所》 (有)キュービット介護サービス、介護ステーションつくし（福島市）、訪問入浴介護やわらぎ(伊達市)</p> <p>《通所リハビリ事業所》 通所リハビリステーションろくまんぼう（伊達市）、エルダーランド、にじのまち通所リハビリテーション（福島市）、通所リハビリテーションめがみ（川俣町）</p> <p>《通所介護事業所》 老人デイサービスセンターはなみずき、北信デイサービスセンターすこやか、デイサービスセンターなごみの郷、デイサービスあづま、デイサービスセンター輝きの郷、元気サポート小倉寺スタジオ2、ニチイケアセンター南福島（福島市）、ニチイケアセンター宇多の郷、（相馬市）、デイサービスセンターにほんまつ（二本松市）、福寿園デイサービスセンター、デイサービスステーションスマイル（南相馬市）、保原デイサービスセンター、デイサービスセンターやわらぎ、霊山デイサービスセンター、（伊達市）、南東北川俣デイサービスセンター（川俣町）</p> <p>《短期入所事業所（特別養護老人ホーム）》 なごみの郷、聖・輝きの郷、あづまの郷、温泉介護ショートステイ宝寿木村屋（福島市）、福寿園（南相馬市）、孝の郷、ハッピー愛ランドほばら（伊達市）、南東北川俣シルクロード館、川俣ホーム（川俣町）</p> <p>《短期入所事業所（老人保健施設）》エルダーランド（福島市）、プライムケア桃花林（伊達市）、杜の都（相馬市）、桑折聖・オリーブの郷（桑折町）、居宅療養管理指導（往診含む）、とやのクリニック、上松川診療所（福島市）、保原中央クリニック（伊達市）、大石医院（相馬市）</p>
--